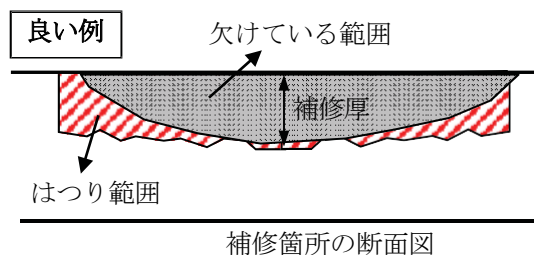


ペイブメントVRの施工要領

1. 補修箇所の下地処理

- ・あらゆる補修材にとって、下地処理は非常に重要です！
- ・補修箇所を長持ちさせるために、きれいな灰色のコンクリートが表面に現れるように入念に下地処理しましょう。
- ・また、補修する前に、損傷の原因を調査し、それを踏まえて補修計画を立てましょう。（根本的な損傷原因を取り除かないと、どんな補修材で補修しても、すぐに再補修が必要となる場合があります。）

1. 補修箇所の外縁に、コンクリートカッターで切込みを入れる
(明らかに損傷を受けている(凹んでいる)範囲よりも5cm程度
ずつ外側に切り込みを入れて、大きめにはつりましょう)
2. はつり機やノミ・金槌で脆弱部をはつり取る
3. 塗料, 塗り床剤, 油等は完全に除去する
(ペイブメントは樹脂系材料には付着しません)
4. きれいな灰色のコンクリートが表面に現れるように泥や埃
をワイヤーブラシ・バキューム等で清掃する
5. 補修箇所に水が浮いている場合は取り除く
(乾燥しているのが最も望ましいが、湿っていてもOK)
6. 最後に補修箇所を打音検査し、脆弱部がないか確認する
(補修箇所全面を金槌でたたいて、キーンという高い音がすればOK)



薄塗りも可能ですが、強い力が作用する箇所や、車両等の重量物が通行する場合は、耐久性の観点から、補修厚は**10mm以上**確保することを推奨します。



株式会社 シー・ティー・ジャパン
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-9 YKホープ芝大門 5階
TEL : 03-6435-7787 FAX : 03-6435-7807
URL : <http://www.ceratechjapan.com/>

2. 練混ぜ準備



プルタブ周囲に切込み



プラスチック帯を取り除く



オープナーで開封



入念に空練り

1. 缶を開封する前に、数回転がして中身をほぐす。
2. 開封
(20kg缶はカッターで蓋のプルタブを切り、プラスチックの帯を引っ張って取り除いてから開封)
3. 電動ドリルで練り混ぜる場合

右の写真の推奨練混ぜパドルを電動ドリルに取り付ける。
(電動ドリルは「7アンペア以上 & 500～850回転/分程度」の**低速高トルク型**(例えばマキタDP4002、日立工機D13VF)を推奨。非力なドリルを使用すると、練混中にモーターが焼き切れる場合があります)



空練りし易い推奨パドル

4. 手練りの場合
1～2kg(練上り量:約0.5～1リットル)程度までの練り混ぜの場合、厚手のビニール袋に水と共にに入れて、外から手で揉んで練り混ぜることも可能です
5. 水を加える前に、材料を空練り(からねり)し、ダマがある場合は完全に潰しておく。
6. 空練りした材料の温度をサーマルガン等
(赤外線放射温度計)で計測する。
7. 材料温度に応じて、練混ぜ水の温度を調節すること
粉体の温度 + 練混ぜ水の水温 = 35～40℃



7.5アンペア
0～600回転/分(無断変速)

マキタ DP4002

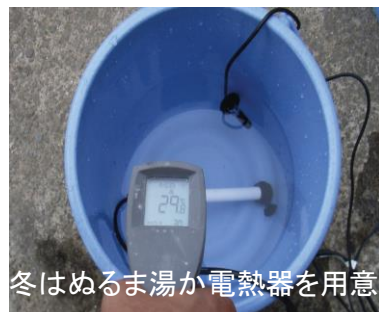
例) 粉体の温度 → 練混ぜ水の水温の目安

5℃	→	30～35℃
30℃	→	5～10℃

8. 練混ぜパドル清掃用の水(洗い水)を入れたバケツも用意しておく。



夏は氷を用意



冬はぬるま湯か電熱器を用意

3. 練混ぜ

1. 缶の大きさに応じて、水の量を**正確に**計量する

商品ラインナップ	練混ぜ水量	練上り量
20kg入り缶	: 2.8~3.0 ℓ	→ 約10ℓ (0.01 m ³)

(厚塗りの場合は0.14ℓ/kg、薄塗りの場合は0.15ℓ/kg程度が目安です)

2. 水を加えたら**すぐに**練混ぜ開始
3. 最初の30秒で材料と水が均一に混ざるように、パドルを高速回転で上下に大きく動かしながら大きく回す。
その後は**低速回転**(100~300回転/分)で、**過剰に空気を巻き込まないように練り混ぜる**
4. **2分間**練混ぜ(最低2分間かつ練上り温度が20℃以上になるまで練り混ぜてください。)
5. 練混ぜ完了後、練混ぜパドルはすぐに水で清掃する

☆専用パドルでの練混ぜの他に、手練りやパン型強制練りミキサー(モルタルミキサー)での練混ぜも可能です。

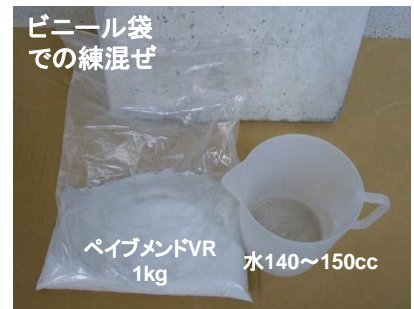
4. 打設・仕上げ

1. 打設箇所の水打ちは必要無し
2. 練混ぜ完了後、すぐに打設(コテで塗り付け)
(約7~10分で硬化(約20℃)します。)
3. 仕上げでは**絶対に水を加えないでください**
(色ムラ、強度低下の原因になります)

5. 養生

1. 流し込んだ後、特別な養生は不要。ただし、供用開始可能時間までは、水がかからないようにして下さい
2. 供用再開時間

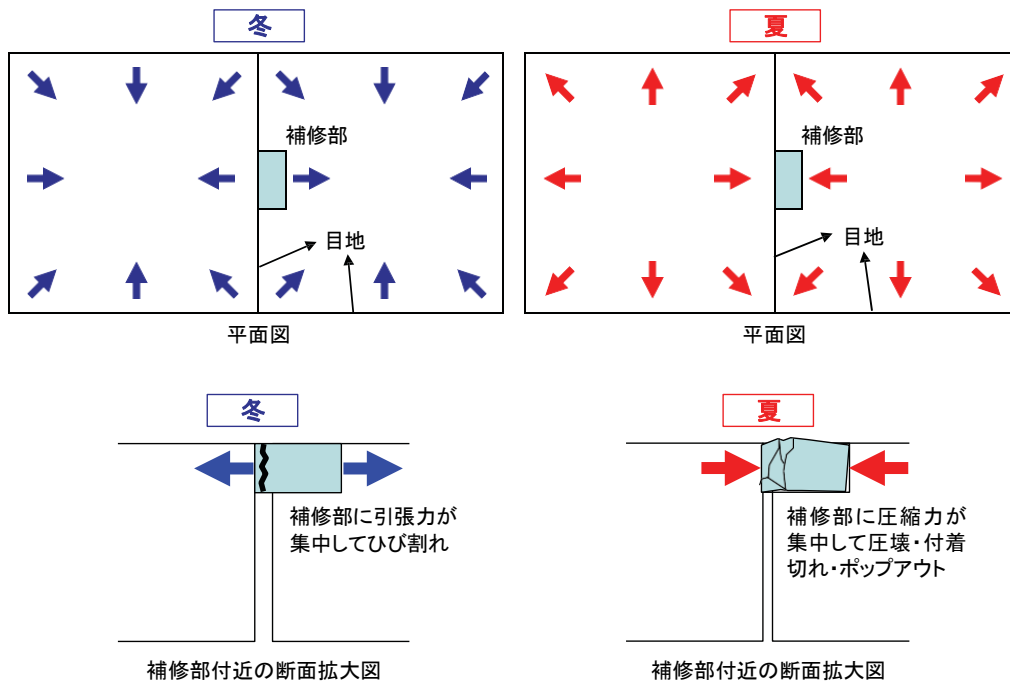
気温 20℃以上 :	4時間
気温 10℃以下 :	6時間



株式会社 シー・ティー・ジャパン
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-9
TEL:03-6435-7787 FAX:03-6435-7807
URL: <http://www.ceratechjapan.com/>

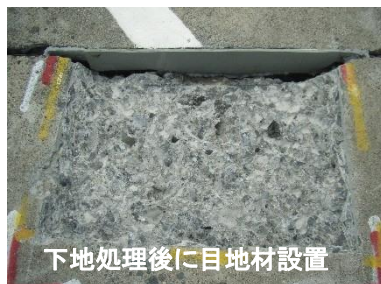
YKホープ芝大門 5階

6. 目地部の補修での注意点



- ・目地部に接した箇所の補修では、昼と夜、夏と冬で温度差が生じることによってコンクリートが伸縮し、目地が開閉することに注意してください。
- ・長さ5mのコンクリートは温度差20℃につき1mmずつ伸び縮みしますので、補修箇所が目地の動きを邪魔してしまうと、補修箇所に非常に大きな力がかかり、損傷を受けます。
- ・目地部に接した箇所の補修では、予め目地材を入れておくか、打設後4～6時間以内にコンクリートカッターで切り込みを入れるなどして、目地を再構築してください。

予め目地材を入れておく方法



硬化後に目地を再構築する方法



株式会社 シー・ティー・ジャパン
 〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-9 YKホープ芝大門 5階
 TEL:03-6435-7787 FAX:03-6435-7807
 URL:http://www.ceratechjapan.com/